

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年2月19日

北海道運輸局

協議会名: 北海道釧路・根室地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)	地方運輸局等における二次評価結果
くしろバス株式会社	遠矢線など全8系統	利用者ニーズに合った運行形態構築に向け、利用実態調査を実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 公共交通の利用者数は目標「1,670千人以上」に対し、ダイヤ改正やインバウンド需要の増加等により、「1,785千人」と目標を達成	沿線利用者のニーズを反映させつつ、利用しやすく安心できる生活交通とするため、必要に応じて関係自治体と協働し、運行の効率化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・計画どおり事業は適切に実施されている。 ・引き続き、地域の関係者が連携して、貨客混載・路線再編・観光需要の取込・各種利用促進策などの地域間幹線系統における乗合バス事業の生産性向上に取り組むことを期待する。 ・また、上記取組にあたっては、取組効果を把握して、収支改善に資する取組となるように、適宜見直しを行うことを期待する。
阿寒バス株式会社	阿寒線など全3系統	観光客向けサイトでの時刻表の掲載などの情報発信強化、自社ウェブサイトでの運行情報の多言語発信等。(事業者、関係自治体)	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 公的資金が投入されている公共交通の収支率は目標「37.5%以上」に対し「43.4%」と目標を達成	沿線市町村の利用者のニーズを反映させつつ、持続可能な生活交通とするため必要に応じて関係自治体と協議し、運行の効率化を図る。	
根室交通株式会社	中標津空港線	利用実態調査を実施。沿線自治体と連携し利用者ニーズに合った運行形態の構築に取り組んだ。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	— 公的資金投入額については、現時点で実績値が未確定であるため、評価困難	利用者ニーズを把握し、持続可能な生活交通とするため、利用実態を基に関係自治体と協議の上、運行ルートや運行時刻・便数等を見直し運行の効率化を図る。	